



プロレスラーがぐんちゅう保育所に

11月16日、ぐんちゅう保育所に新日本プロレスの棚橋弘至選手がやってきました。

たくさんの園児を相手に腕相撲やプロレスで対戦した棚橋選手。力強い体や動きに園児たちも大興奮！「投げられても痛くないの？」という園児の質問に「自分の体を守るように練習して、痛くてもつらくてもがんばって、倒れても応援を聞いてまた立ち上がる。勝ったら一緒に喜んでくれる人たちがいるから、また戦いたいと思うんだ。」と笑顔で答えました。



伊予市高齢者交通安全推進大会

11月15日、市民会館で『伊予市高齢者交通安全推進大会』が開催されました。

交通事故は減少しつつあるが高齢者の交通事故は多発していることや、今年交通事故で死亡した4人のうち3人が高齢者であることから、「自分には起こらないものと思わないで」との話があり、大会参加者には光を反射するたすきなどが配られました。

また、高齢者交通安全アドバイザーの体験発表や沖縄三線演奏、社団法人日本自動車連盟の真野さんの講演が行われました。



こころとからだの健康フォーラム

11月20日、伊予市市民会館で『こころとからだの健康フォーラム in いよし～やっぱ、笑顔がいーよネ！～』が行われました。

記念講演やストレスチェック、トークショー、笑いヨガなどの催しが行われました。記念講演では、豊岡台病院の病院長で社会人落語日本一の枝廣篤昌さんによる落語が披露され、「大きな声で笑う 積極的に笑う 面白くなくても笑う」と学びを取り入れた落語に、会場は笑い笑顔に包まれました。



講道館杯出場激励会

11月17日、平成22年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会に出場する榎本 収さん(尾崎)の出場激励会が行われました。

榎本さんは、新田高校の先生として教卓に立ちながら、また、柔道部のコーチとして部員を指導しながら自らの柔道を磨いています。

【試合結果】 ベスト 8



ノジギク JR下灘駅で、野路菊の観賞会

11月22日、JR下灘駅で『野路菊や植物の観賞会』が行われました。

野路菊を最初に植えたのは一昨年の9月。地域の老人会や小学生、伊予農高生、JRの方々の手によって植えられました。プラットホームが野路菊やコスモスで満開となったこの日、植栽の中心となった日喰老人会にJR四国社長からの感謝状が手渡されました。また、俳句を詠んだり、ぜんざいが振る舞われたりと、参加者は華やかに彩られたJR下灘駅で心を和ませていました。



森の海岸で、メタセコイアの化石？

11月12日、森の海岸で、巨大な扶桑木が市民の通報により発見されました。

大きさは、長さ130cm、幅100cm。

森の海岸には、およそ100万年以前に繁茂した植物の埋れ木が見られ、県の天然記念物に指定されています。今回採取した扶桑木の樹種は何なのか、伊予市教育委員会で調査を進めています。伊予市の木であるメタセコイアだといいですね。



野中倶楽部、愛媛スポレクで優勝！

10月31日、11月7・14日に行われた、『愛媛スポーツレクリエーション祭2010 ソフトボール成年男子の部』において、野中倶楽部(中山町出瀨)が優勝しました。

野中倶楽部は、伊予地区代表として出場し、毎試合、息詰まる投手戦を繰り返しました。堅い守りとチームワークで勝利を重ね、決勝戦では、エースが7回1安打完封劇の4対0で見事締めくくり、本大会2年ぶり2度目の栄冠に輝きました。



佐礼谷地域、葦(よし)刈りに応援団！

12月4日、佐礼谷地域で、住民自治されだにによる河川の葦刈りが行われました。
今回の活動は「元気な集落づくり応援団マッチング事業」を活用した取り組み。応援団として参加した聖カタリナ大学の学生たちは、地域の方と一緒に汗を流し、川をきれいにしました。作業後は交流会。地元料理に舌鼓をうちながら、地域の活性化などについて互いに意見交換をしました。



武田大作選手、伊予中で講演会

11月26日、伊予中学校で、ボートの武田大作選手の講演があり、「チャレンジすることの大切さ」を伝えました。
武田選手は小学生のときからオリンピックに出る夢を抱き、高校でボート競技に出会って、1996年から4回連続で出場しています。
「何がしたいか目標を決めて、課題を克服するために今日何をするかを考える。つらいことも、夢のためのものだからしょうがない。僕は37歳の今が最強。どこまで強くなれるか楽しみ。」と熱く語りました。



市民フォーラム「伊予市のまちの将来」

11月23日、湊町周辺で『市民フォーラム「伊予市のまちの将来」まちなか再生と文化拠点づくり』が行われました。
参加者は、湊町に現存する伝統的な家屋を見学した後、まち並み保存や芸術によるまちづくりの事例が紹介され、まちなかを再生するために何が必要なのかを考えました。



されだにきてみん祭

11月21日、佐礼谷診療所前の広場で『第3回されだにきてみんさい祭』が行われました。
佐礼谷小児童による太鼓や万歳でスタートした「きてみん祭」。会場では、木工品の販売や猟友会のしし鍋・バーベキュー、地域の子どもから高齢者までが協力して育てたもち米でつくったお餅の実演販売など、地域の方によるバザーは、多くの人で賑わっていました。
また、国道から会場までは、案山子(かかし)の案内があり、心いやされる手づくりのお祭りとなっていました。



体験実習生の武智さん(愛大)を受け入れ

愛媛大学農学部は、将来の農山漁村地域のリーダーとなる人材育成を目的に、「農山漁村地域マネジメント特別コース」を実施しています。
このたび、その受講生で大学3回生の武智雅人さん(中山町中山)が、12月13日から6週間、実習生として主に産業経済課で体験実習を行います。
武智さんのコメント「まずは、市の農林水産業や商工業、観光の現状を学びたい。そして、将来は自分が生まれ育った中山に帰り、中山の活性化のために役立てたい。」



上吾川松本町内会、餅つき大会

12月5日、上吾川松本集会所で『松本町内会餅つき大会』が行われました。
今年で3回目となるこの餅つき大会は、年に4回行われる資源ごみ回収の費用で実施。お餅は、町内会の高齢者をはじめ、全世帯に配ります。松本地区総代の正岡満さんは「夏はボーリング大会、冬は餅つき大会をしています。地域のつながりを大事したい。」
真っ赤な松本軍団Tシャツを着た青年部の方々は、終始笑顔で、楽しい餅つき大会となっていました。



伊予市平和祈念式典

11月26日、伊予市市民会館で『平成22年度伊予市平和祈念式典』が行われました。
市長や伊予市遺族会長の追悼のことばの後、関係機関や団体の代表者が慰霊碑に献花をしました。
また、会場には、多くの小学生も参加しており、経験したことのない戦争について、アニメ上映などで学びました。



港南リトル、ハワイチームと交流

11月24日、マドンナスタジアムで『第9回愛媛ハワイ交流少年野球大会』として、港南リトルリーグとハワイの少年野球チームとの交流試合が行われました。
練習の時から、相手の身長や体格、ボールの速さやスイングなど、お互いに食い入るように見つめていました。港南リトルの少年たちによると、ハワイチームの投げる球は速く、変化球よりストレートが多いとの分析でした。試合後はお互いに英語と日本語を交えながらバーベキューをして、夜はホームステイで、いっそう親交を深めました。